

口腔外科

有家 巧

当科では口腔、顎、顔面領域に生じる疾患を治療対象としている。すなわち1) 歯および歯周組織疾患 2) 口腔粘膜疾患 3) 顎骨疾患 4) 唾液腺疾患 5) 顎関節疾患 6) 神経疾患 7) 血液疾患 (診断と口腔粘膜出血の処置) 8) リンパ系疾患などの口腔外科疾患を扱っている。特に悪性腫瘍の治療においては頭頸部カンファレンスと病理カンファレンスを行い、関連科の協力を得て集学的な治療を積極的に行っている。一方総合病院の口腔外科として、一般開業歯科医院では治療困難な全身管理 (全身麻酔および周術期管理を含む) を要する患者さんの歯科治療や、入院患者さんの口腔管理も行っている。なかでも口腔ケアは、放射線治療、化学療法、骨髄移植、全身麻酔の術前 (上部消化管疾患、肺がん等)、人工呼吸器装着および各種感染症などの患者における治療の遂行および入院期間に影響を与える大きな要因として認識され、十分な対応が求められている。

教育面では当科は歯学部学生の早期臨床体験を受け入れ、歯科医師卒後研修の研修指定病院としてマッチングに参加し、1名の歯科医師臨床研修医を教育している。また日本口腔外科学会および日本顎関節学会の研修指定機関に指定され、専門医取得のための卒後教育も積極的に行っている。

臨床研究としては口腔顎顔面悪性腫瘍術後における顎骨再建と口腔機能再建、非関節性開口障害の診断と治療をそのテーマとしている。

【2016年度 研究発表業績】

B-4

有家 巧、横江亜美、宮川まどか、後藤倫子、濱田裕之、古川正幸、鹿野 学：大阪府における HIV 歯科診療ネットワークの構築について。第 70 回国立病院総合医学会、沖縄、2016 年 11 月 12 日

濱田裕之、横江亜美、鹿野 学、宮川まどか、後藤倫子、古川正幸、有家 巧：4 歳男児の下顎枝に発生した desmoplastic fibroma の 1 例。第 61 回日本口腔外科学会総会・学術大会、千葉、2016 年 11 月 26 日

B-5

濱田裕之、鹿野 学、宮川まどか、後藤倫子、古川正幸、有家 巧：下顎歯肉癌の再発病変に対する化学療法中に生じた薬剤性間質性肺炎の 1 例。第 47 回日本口腔外科学会近畿支部学術集会、大阪、2016 年 7 月 2 日